BUS DRIVER JOB INFORMATION

Driver's Interview vol.3

「バス運転手」という仕事。

函館バス株式会社
運転手 小西 努

函館バスの日吉営業所に所属する小西努さんが入社したのは2022年。それ以前は他の会社で観光バスの運転手として勤務していたが、コロナ禍の影響で函館バスに転職。いわば観光バスのドライバーから路線バスのドライバーに転身した立場だ。

「貸切という環境で同じ顔ぶれのお客様と数日間一緒の時間を過ごすのが観光バス。路線バスは不特定多数のお客様との分刻みのおつきあい。感覚的にはまったく違いますね」。路線を担うようになってまだ2年弱。シャトルバスなどの普段走行しない業務にはオフの時間を使い、場所やルートの下見・復習することを心掛け、もはや習慣となっている。

そんな小西さんのポリシーは、お客さんを無事に届けることだ。

「私の中ではそれこそが宿命であり正解です。たとえ時間に遅れても、お客様を無事に届けることを最優先する。私がこの業界に入って最初に仕事を教えてくれた先輩が口すっぱく言っていたことで、それをいまも守り続けている感じです。たとえ事故がなくても、お客様が下車する際に足がもつれて怪我をされたりする可能性だってありうる。それだと無事に届けたことにならない。だから冬場や雨の日には特に『足元にお気をつけください』の一言はしっかり伝えたいですね」。

小西さんが所属する日吉営業所には類まれな団結力があるという。「所長をはじめとして一致団結している感がありますね。市内では最も人数が少ない営業所なんですが、それゆえの結束というか。人手不足などの逆境の中でも、営業所全体で路線バスを盛り上げようという空気がありますし、そこが魅力だと思います」。